令和８年度 本市（行政及び学校・幼稚園・保育園等）が関わる食育推進プログラム一覧

本市が関わって実施する食育推進プログラムを、特に関連の深い「重点プログラム」ごとに整理

1　わ食の日事業 【79件】			
	食育推進プログラム	実施主体	主な内容
1	図書の展示、おはなし会の開催	行政	○食に関する図書・絵本を展示する。 ○学校への調べ学習・読書支援のために「食育」をテーマにした図書を数十冊セットにして学校への貸出を行う。
2	家庭教育学級の開催、青少年の学習・体験活動の推進事業、環境問題解決のための事業	行政	○保護者と子の料理教室を実施する。 ○エコがテーマの調理体験の機会を提供する。 ○調理体験を実施する。
3	郷土資料館における行事食の調理体験・展示	行政	○行事食等の作り方体験 石臼できな粉を挽く体験や和菓子作り、広島のお好み焼のルーツである一銭洋食作りなど、行事食・郷土料理の調理体験の機会を提供する。
4	倫理的消費（エシカル消費）の普及・促進	行政	○ 倫理的消費の普及・促進の一環として、地産地消や食品ロスの削減に係る啓発を行う。
5	民生委員・児童委員による相談・支援活動	民生委員・児童委員	○市が実施する「こんにちは赤ちゃん事業」に協力し、訪問時に保護者等の求めがあった際、食育に関する助言を行う。 ○地域住民や他団体とともに実施する子育てサロンやオープンスペースのなかで、保護者等の求めがあった際に食育に関する助言などを行う。 ○社協、学校、こども会などと協力し、地域のニーズに応じたこどもの居場所づくりやこども食堂の実施などに取り組む。
6	元気じゃけんひろしま21推進事業(糖尿病予防戦略事業等)	保健センター	○保健センターや公民館等において、健康づくりの3要素である栄養・食生活、運動、休養をテーマに各種の健康づくり教室を開催する。
7	元気じゃけんひろしま21協賛店・団体	行政	○食生活などの健康づくりに欠かせない情報を提供している飲食店や企業等を認証し、ステッカーを交付するとともに市ホームページ等で公表する。
8	保健センター等における食生活教室の実施 （食生活改善普及活動）	保健センター	○各区保健センター等において、様々な年代等を対象とし、3つの「わ食」を推進するための料理教室や講座を実施する。
9	保健センター等における健康情報の提供 （食生活改善普及活動）	保健センター	○健康まつりや区民まつり、保健センターや区役所の健康情報コーナー等において、食に関するパネル展示やリーフレットの配布等により食生活改善に関する普及啓発活動を行う。
10	食生活改善に関する人材育成の充実 （食生活改善普及活動）	保健センター	○すこやか食生活推進リーダーやすこやか食生活推進サポーターの継続的な育成を行い、保健センターが行う健康教室や栄養教室等において、正しい食生活の知識や広島の郷土料理や食文化等の普及をすすめる人材として活用する。
11	保健センターにおける栄養相談の実施	保健センター	○各区の保健センター等において、栄養士による予約制の栄養相談日を設け、個別相談を実施。また、随時電話等による食生活全般についての栄養相談に対応する。
12	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（栄養）	行政	○後期高齢者健康診査受診者のうち、健診データ等により低栄養の恐れがあると判定された者等を対象として、管理栄養士の居宅訪問等による栄養改善のための指導・助言等を行う。
13	地域保健・職域保健連携推進事業	行政	○従業員やその家族等への健康づくりへの理解を深めるため、企業に出向いて健康教室を行う。 ○健康経営の認知度を向上させるため、民間ラジオ局及び全国健康保険協会広島支部と共催したラジオキャンペーンの実施や健康経営セミナー（共催・後援）を実施する。
14	介護予防活動等普及啓発事業（低栄養予防教室）	地域包括支援センター	○65歳以上の高齢者を対象に、低栄養を予防するための教室を開催する。
15	保健センターによるこどもの食に関する情報提供、普及啓発	保健センター	○各保健センターにおいて、乳幼児健診を活用して、食に関する情報提供（パンフレット・待ち合い場所でのパネル展示）や個別相談を行う。 ○区の健康まつり等のイベント時に、栄養相談やパネル展示などを行う。
16	保健センター等で行う食育教室・食生活相談の実施	保健センター	○各保健センターで母子関係の個別相談及び集団指導を行う（乳幼児健診、各種食育教室）。 ○すこやか食生活推進リーダーやすこやか食生活推進サポーターを活用して、幼稚園等で食に関する講演等を行う。
17	安全でおいしい保育園等給食の充実	保育園	○保育園等給食の献立作成にあたっては、季節感や地域性を考慮し、品質がよく、幅広い種類の食材を取入れる。 ○19日（わ食の日）の給食を「ごはん・魚料理・汁物」の献立にし、「わ食の日」と「日本型食生活」について意識づけを図る。 ○おやつにいりこを提供し、「かむこと」の意識づけを図る。 ○県内産の野菜等を可能な範囲で取り入れ、保育園等に食の情報を提供する。 ○除去食対応を中心に、食物アレルギー対応を行う。

	食育推進プログラム	実施主体	主な内容
18	保育園等における食の家庭支援	保育園	○保育参観時に給食参観や給食試食会、「食」に関する講演会などを行う。 ○3色分けした栄養ボード等を活用し、給食食材のグループ分けをし、情報を提供する。
19	「食育通信～保育園から食のメッセージ～」の配信	保育園	○幼保企画課が提供した食育通信を参考に、各保育園等で給食だよりを作成し家庭に配付するとともに、「食」に対する関心を高める。（保育園等給食、園で実施した食育の内容とこどもの反応等）
20	保育園等における栽培体験	保育園	○各保育園等において、食育年間計画を作成し、野菜等の栽培から収穫、調理、喫食までの一連の体験を3歳以上児を中心に実施する。（夏野菜の苗植え、水やり、草むしり、収獲等）
21	保育園等における食体験の充実	保育園	○給食に興味を持って自分で食べようとする気持ちを育てるため、給食の食材等を見たり、触れたりする体験や皮むき、すじとり等を行う。 ○各年齢別に年間指導計画をたて、年齢に合わせた食体験をする。
22	保育園等における食文化体験	保育園	○地域の人とのもちつきや地域特産の野菜（広島菜など）の収穫など、地域の食文化に触れる取組を行う。
23	食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」	広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会、広島市	○市民、事業者、行政が一体となって食品ロス削減キャンペーンを実施する。 （主な取組） ・スーパーマーケットの店頭で、買物客に食品ロス削減の取組を呼びかける「ごみ減らそうデー」の実施 ・食品ロスの削減の取組を推進する飲食店や小売店を協力店として登録し、市民にPR ・協力店のうち飲食店等で料理を完食した市民に対する広島広域都市圏ポイント等を付与 ・エコクッキング教室や生ごみリサイクル講習会等を実施 ・環境イベント等への出展に合わせてフードドライブを実施 ・高校、大学と連携し、生徒、学生考案の新たなエコクッキングレシピを作成し、学生等が主体のエコクッキング教室を開催。また、レシピ紹介動画を学生が作成 ・市民を対象とした食品ロス削減イベントを実施 ・食品ロスの削減に関して優れた取組をしている方の功績をたたえる広島市食品ロス削減推進表彰を実施 ・フードシェアリングの促進
24	広島生鮮三品連絡協議会事業（“ひろしまそだち”クッキング教室の開催）	広島生鮮三品連絡協議会及び（公財）広島市文化財団	○生鮮三品（青果、食肉、鮮魚）の調理方法の紹介等を行うことにより、その消費拡大を図ることを目的とし、公民館等で親子等を対象とした料理教室を実施する。
25	食農推進事業	行政	○栽培から食べることまでの一貫した食農体験などを行うことにより、市民の「食」と「農」への理解を深め、地産地消の推進を図る。 ○農業体験を希望する小学校に対し、稲作・野菜等の栽培指導や食農授業の支援をする。
26	市民農園・市民菜園の推進	行政	○ 菜園開園者へ開園整備に係る経費を補助する。 ○ 市民への積極的なPRや入園者に対する栽培講習会の開催などを行い、菜園等の利用を促進し、自給自足型市民を拡大する。
27	食農コーディネーター活動支援	行政	○ 食農体験事業や産地交流会などのイベントの企画、運営を行う食農コーディネーターの活動支援をする。
28	「ひろしまそだち」地産地消推進事業（ひろしま地産地消の日）	行政	○フードフェスティバルや農業祭、料理教室等のイベント、ホームページ等を活用し、広島近郊7大葉物野菜などの「ひろしまそだち」産品をPRする。 ○生産者と消費者との交流を進め、安全・安心の確保を図るとともに、地産地消の普及・啓発を図る。 ○毎月第3日曜日の－ひろしま産day－「ひろしま地産地消の日」に市民へ地産地消の重要性を普及啓発することで地産地消のより一層の推進を図る。
29	地元産魚介類の販売促進事業	漁業者	○地元水産物の消費拡大を図るため、漁業者(広島市漁業振興協議会、各漁業協同組合）が実施する水産まつりや朝市等における魚介類の販売促進事業を支援する。
30	広島湾七大海の幸PR事業	行政	○広島湾で獲れる代表的な魚介類7種（メバル、コイワシ、オニオコゼ、アサリ、クロダイ、カキ、アナゴ）をまとめて「広島湾七大海の幸」としてブランド化し、豊かな里海で育った魅力ある食材としてイベント等で多くの市民にPRすることで、これらの消費拡大を図り、広島湾周辺地域の経済を活性化させる。
31	海辺の教室事業	行政	○水産業に対する理解を深め、魚と漁業に関する知識の普及啓発を図るため、小学校3～6年生とその保護者を対象に、水生生物の観察やカキ養殖などについて学習する「海辺の教室」を毎月1回（7、8月を除く。）開催する。
32	海と漁業の体験スクール	行政	○水産業に対する理解を深め、魚と漁業に関する知識の普及啓発を図るため、市内の小学生を対象とした種苗の放流体験や市内の小中学校・こども会等の団体を対象とした干潟の生物観察、カキ打ち体験などを実施する。
33	SNSを活用したレシピの普及啓発	保健センター	○YouTube、X、Facebook等を活用し、すこやか食生活推進リーダーやすこやか食生活推進サポーターが作成したレシピの普及啓発を行う。
34	SNSや区役所モニター広告による啓発	保健センター	○ひろしま子育て応援アプリ「母子モ」等のSNSや区役所設置のモニター広告を利用し、栄養バランスのよい食事や朝食摂取の重要性について普及啓発を行う。
35	健康パネル展開催等による健康づくりの推進	保健センター	○区役所ロビーや保健センターの掲示板、地域で開催されるまつり等において、健康パネル展等を実施する。

食育推進プログラム		実施主体	主な内容
36	企業と連携した食育の推進	保健センター・企業	○区内の企業と連携し、働く世代及びその家族を対象とした健康展や健康講座を実施し、栄養バランスのとれた食事について普及啓発する。
37	地域連携協力に係る大学との健康づくりの推進	保健センター・大学	○区内の大学における大学祭や新入生対象の健康ガイダンスで、栄養バランス等について普及啓発する。
38	食品関連事業者と連携した食育の推進	保健センター・食育推進会議事務局・食品関連事業者	○スーパーマーケット等の食品関連事業者と連携してPOPやレシピの掲出、店内放送等を実施し、野菜や朝食の摂取、地産地消、食品ロス削減等を啓発する。
39	乳幼児健診会場のモニターを活用した動画による啓発	保健センター	○乳幼児健診会場のモニターを使用し、待ち時間を利用した動画による啓発を実施する。 ○こどもの食に関する情報提供の他、食育の推進や親世代の健康づくりに関する啓発動画も放映。
40	防災フェアにおける情報発信	保健センター	○栄養バランスのとれた備蓄食品を展示し、有事に備えて平時から栄養バランスのとれた食事をすることの大切さについて普及啓発する。
41	親子クッキング	保健センター	○小学生と保護者を対象として、調理実習を行い、栄養バランスの整った食事の大切さなどについて普及啓発する。
42	専門学校等への出前講座	保健センター	○区内の専門学校及び大学等に所属する学生を対象として、栄養・食生活改善を普及啓発する。
43	オープンスペース等で実施する食育教室	保健センター	○子育て世代に対し、朝食に関する普及啓発等を行い、食習慣の改善を図り、家族ぐるみの健康づくりを推進する。
44	とりわけ離乳食に関する食育講座（実演・試食あり）	保健センター	○とりわけ離乳食について、実演・試食を行うことにより、親・子ともに栄養バランスのとれた食事について普及啓発する。
45	東区役所元気じゃけん食堂事業	保健センター	○区役所職員食堂を「健康づくりを発信するスポット」として、健康定食の提供支援や健康に関する情報の掲示などを実施する。
46	木曜であい市における地元野菜レシピの紹介	保健センター	○農家が区内の新鮮野菜などを販売する「木曜であい市」において、地元野菜を使用したレシピの掲示・配付を行い、野菜摂取量の向上を中心に、栄養バランスの整った食事について普及啓発を行う。
47	南区の食“風土”を考える会	行政、大学地域団体、食品関連事業者等	○食生活の自立支援（料理教室の開催、メニュー集の普及）、おいしく食べる環境づくり（調理などを通じて交流を行う場づくり等）に関する取り組みを高齢者の食に関わる関係者が協働して実施する。
48	西区元気じゃけん食堂事業	保健センター	○区役所職員食堂を「食と健康情報の発信スポット」として、健康定食の提供支援や健康に関する情報の掲示、健康相談・測定会などを実施する。
49	災害時の食を考える教室による食育の推進	保健センター	○災害時に家庭で健康に過ごすためには、家庭での食品備蓄が重要である。そのために主食・主菜・副菜を組み合わせ、栄養バランスに配慮した食品を消費しながら備蓄することを推進する。
50	お口の健康フェアによる食育の推進	保健センター	○お口の健康フェア参加者を対象に、噛みやすい食事の実物展示を行い、噛むことの大切さを伝えるとともに栄養バランスの良い食事について普及啓発を行う。
51	卒乳講座でのおやつについてのミニ講座による食育の推進	保健センター	○卒乳講座に参加している乳幼児及びその保護者を対象として、乳幼児期に適したおやつの摂り方や、簡単に調理でき、不足しがちな栄養素を摂取できるおやつのレシピを紹介するなど、適切な情報提供を行う。
52	地元野菜を使用した料理教室	保健センター	○地場産の食材を使用した料理の実習を行い、地産地消の大切さや栄養バランスの整った食事について普及啓発する。
53	歯の祭典＆健康展における情報発信	保健センター	○歯の祭典＆健康展の参加者を対象に、栄養に関する展示や豆運び競争を実施し、栄養を中心とした健康に関する情報の普及啓発を行う。
54	広島市安佐北食育交流センターにおけるパネル展示 **【新規】**	保健センター・食育推進会議事務局	○広島市安佐北食育交流センターにおいて、3つのわ食、安佐北区で生産されている野菜の生産地マップ及びレシピ等の掲示を行う。
55	食育紙芝居による情報発信	保健センター	○区民まつり、保健センターが実施する健康教室や各種サロンなどで、安芸区すこやか食生活推進リーダーやすこやか食生活推進サポーターが作成した食育紙芝居を実演し、栄養・食生活改善及び栄養を中心とした健康増進について普及啓発する。
56	夏休み料理教室	保健センター	○小学生を対象として、調理実習を行い、栄養バランスの整った食事の大切さなどについて普及啓発する。
57	女性の健康週間にあわせた料理教室	保健センター	○安芸区在住の女性を対象に、調理実習や調理実演を行い、女性に特に必要な栄養素や栄養バランスの整った食事の大切さなどについて普及啓発する。

	食育推進プログラム	実施主体	主な内容
58	健康フェスティバルにおける情報発信	保健センター	○健康フェスティバルの参加者を対象に、栄養体験や食育紙芝居、豆運び競争などを実施することで栄養・食生活改善を普及啓発する。
59	瀬野川健康ウォーキングのゴール地点イベントブースにおける情報発信	保健センター	○瀬野川健康ウォーキングの参加者を対象に、レシピ配布などを実施することで、栄養・食生活改善を普及啓発する。
60	地域の祭りにおける情報発信	保健センター	○地区で開催される農業祭や町民まつり等の参加者を対象に、野菜の計量体験やレシピ配布などを実施することで、栄養・食生活改善を普及啓発する。
61	大学における食育教室	保健センター	○区内の大学に所属する学生を対象として、栄養・食生活改善を普及啓発する。
62	もてなしのまちづくり事業 木曜であい市・食農体験	行政	○農家が区内の新鮮野菜などを販売する「木曜であい市」の開催や、学校給食への食材提供（野菜）を安定的に行う仕組みにより、地産地消を促進する。 ○生産地において、農作物の栽培から収穫、食を体験する「食農体験」を実施し、地産地消及び生産者と消費者の交流の促進等を図る。
63	地元野菜・伝統野菜の普及啓発(栽培展示)	行政	○区役所や小学校の畑で、伝統野菜の栽培の様子を展示するとともにSNS等で広報することで、地域の伝統野菜の普及・啓発を図る。 ○地元農家の指導のもと児童や園児が植付から収穫、給食での食を体験することにより、地産地消および生産者と地域のこどもの交流の促進を図る。
64	地域団体による収穫祭の実施	地域団体等	○旧国鉄宇品線の北側で菜園活動を行う地域団体等で収穫祭を実施する。（春と秋の2回実施） ○野菜の植え付けから収穫、調理を通じて食育を推進することを目的とする。
65	親子で元気じゃけんツアー「西区の食・発見するけぇ！」	行政	○小学生とその家族を対象に、西区で栽培した「サツマイモ」の収穫体験を行う。 ○生産者を講師として招き、生産者と消費者の交流を行う。
66	親子で元気じゃけんツアー「西区で海の幸、発見するけぇ！」	行政	○小学生とその家族を対象に、西区の食材（井口わかめ）の刈り取り体験を行う。 ○井口わかめの生産者を講師として招き、生産者と消費者の交流を行う。
67	農作物の栽培から収穫までの一連の体験	運営協議会	○田植え・稲刈り・さつまいもの植え付けや収穫の体験を行う。 ○そばの種まきから収穫、そば打ちの体験を行う。
68	湯来柿もぎボランティア活動の実施	行政、住民	○地域住民とボランティアが放置された柿の収穫を行い、クマなど有害鳥獣による被害を防止する。
69	こんにゃくの食農体験等への支援	住民	○地域住民とボランティアがこんにゃくを学ぶ受講生を受け入れ、栽培から収穫、加工までの一連の体験を行う。
70	電子メディアとこどもたちとの健全な関係づくり　**【拡充】**	行政	○電子メディアチャレンジ：保護者に対し、乳幼児期のこどもへのスマートフォンやタブレット等の使わせ方により、睡眠や生活習慣に影響が及ぶことを周知・啓発する。 ○10オフ運動の推進：学校等と連携し、「夜9時以降はスマートフォン等によるメッセージの送信をしない」「遅くとも夜10時までにはスマートフォン等の使用をやめる」「家族で話し合ってスマートフォン等の使用に関するルールを決める」という10オフ運動を推進する。
71	次世代のための食育プロジェクト　**【拡充】**	青少年センター	○自宅で気軽に体験できる稲作体験を小学生に伝えることができる高校大学生を中心としたスタッフを育成し、それをこどもたちへ伝える場を創出する
72	こどもの文化体験　**【拡充】**	青少年センター	○「次世代のための食育プロジェクト」で育成された学生を中心としたスタッフによる小学生を対象とした稲作体験
73	「生きた教材」である学校給食と給食指導の充実	学校	○「食育の日（わ食の日）」に和食の献立の給食を実施する。 ○栄養バランスや、食文化の伝承、国際理解、地場産物・旬の食材の活用を考慮した学校給食を実施する。 ○噛みごたえのある食材を使った献立を実施する。 ○給食指導資料を作成し、各校で活用する。
74	学校・家庭・地域が連携した食育の充実	学校	○小学1年生から中学3年生までの各学年の指導計画に応じた食育教材を作成し、児童生徒の指導及び家庭への啓発を行う。 ○家庭・地域と連携を図るため、食育だより・ホームページ等で情報提供を行う。 ○児童生徒の食生活状況（朝食等）を把握し、指導に活用する。 ○地域人材・関係機関等による食育授業を実施する。
75	幼稚園における料理教室や行事食体験の開催	幼稚園	○幼稚園において調理体験や食に関わる行事等を実施する。
76	幼稚園におけるお弁当の時間を活用した食べ方の指導	幼稚園	○お弁当の時間に、食前の手洗いや食事のあいさつ、箸の持ち方などについて指導する。
77	「早寝早起き　元気なあいさつ　朝ごはん運動」の推進	学校	○ 家庭・地域との連携を推進し、幼児児童生徒の生活リズムの定着を図る。 ○ 全校一斉生活リズムカレンダー実施週間を実施する。 ○ 基本的な生活習慣の定着に関するリーフレットを配付する。

	食育推進プログラム	実施主体	主な内容
78	農業委員等による農業体験指導	行政	○幼稚園、保育園、小学校、区役所、民間等で、農業委員等が、芋ほりや野菜、麦、稲作栽培などの農業体験学習を支援する。
79	若者世代のための食育啓発事業	食育推進会議事務局	○若い世代に対し、「望ましい食習慣の形成・食に関する自己管理能力の育成」を図るため、趣旨に賛同する大学において、大学生を中心とした新しい発想や企画力を生かした啓発活動として食育プロジェクトを推進する。

2　自然に健康になれる食環境づくり事業 【9件】

	食育推進プログラム	実施主体	主な内容
1	元気じゃけんひろしま21協賛店・団体 [再掲]	行政	○食生活などの健康づくりに欠かせない情報を提供している飲食店や企業等を認証し、ステッカーを交付するとともに市ホームページ等で公表する。
2	地域保健・職域保健連携推進事業 [再掲]	行政	○従業員やその家族等への健康づくりへの理解を深めるため、企業に出向いて健康教室を行う。 ○健康経営の認知度を向上させるため、民間ラジオ局及び全国健康保険協会広島支部と共催したラジオキャンペーンの実施や健康経営セミナー（共催・後援）を実施する。
3	「ひろしまそだち」地産地消推進事業（ひろしま地産地消の日） [再掲]	行政	○フードフェスティバルや農業祭、料理教室等のイベント、ホームページ等を活用し、広島近郊7大葉物野菜などの「ひろしまそだち」産品をPRする。 ○生産者と消費者との交流を進め、安全・安心の確保を図るとともに、地産地消の普及・啓発を図る。 ○毎月第3日曜日の－ひろしま産day－「ひろしま地産地消の日」に市民へ地産地消の重要性を普及啓発することで地産地消のより一層の推進を図る。
4	SNSを活用したレシピの普及啓発 [再掲]	保健センター	○YouTube、X、Facebook等を活用し、すこやか食生活推進リーダーやすこやか食生活推進サポーターが作成したレシピの普及啓発を行う。
5	企業と連携した食育の推進 [再掲]	保健センター・企業	○区内の企業と連携し、働く世代及びその家族を対象とした健康展や健康講座を実施し、栄養バランスのとれた食事について普及啓発する。
6	食品関連事業者と連携した食育の推進 [再掲]	保健センター・食育推進会議事務局・食品関連事業者	○スーパーマーケット等の食品関連事業者と連携してPOPやレシピの掲出、店内放送等を実施し、野菜や朝食の摂取、地産地消、食品ロス削減等を啓発する。
7	東区役所元気じゃけん食堂事業 [再掲]	保健センター	○区役所職員食堂を「健康づくりを発信するスポット」として、健康定食の提供支援や健康に関する情報の掲示などを実施する。
8	南区の食“風土”を考える会 [再掲]	行政、大学地域団体、食品関連事業者等	○食生活の自立支援（料理教室の開催、メニュー集の普及）、おいしく食べる環境づくり（調理などを通じて交流を行う場づくり等）に関する取り組みを高齢者の食に関わる関係者が協働して実施する。
9	西区元気じゃけん食堂事業 [再掲]	保健センター	○区役所職員食堂を「食と健康情報の発信スポット」として、健康定食の提供支援や健康に関する情報の掲示、健康相談・測定会などを実施する。

3　食を通じてみんなで育てよう ひろしまっ子事業 【37件】

	食育推進プログラム	実施主体	主な内容
1	図書の展示、おはなし会の開催 [再掲]	行政	○食に関する図書・絵本を展示する。 ○学校への調べ学習・読書支援のために「食育」をテーマにした図書を数十冊セットにして学校への貸出を行う。
2	家庭教育学級の開催、青少年の学習・体験活動の推進事業、環境問題解決のための事業 [再掲]	行政	○保護者と子の料理教室を実施する。 ○エコがテーマの調理体験の機会を提供する。 ○調理体験を実施する。
3	民生委員・児童委員による相談・支援活動 [再掲]	民生委員・児童委員	○市が実施する「こんにちは赤ちゃん事業」に協力し、訪問時に保護者等の求めがあった際、食育に関する助言を行う。 ○地域住民や他団体とともに実施する子育てサロンやオープンスペースのなかで、保護者等の求めがあった際に食育に関する助言などを行う。 ○社協、学校、こども会などと協力し、地域のニーズに応じたこどもの居場所づくりやこども食堂の実施などに取り組む。
4	小学校における上手な手洗い授業の実施	保健所	○ 児童が正しい手洗い方法と手洗い習慣を身に付けるとともに、手洗いを通じて食品衛生に関する理解が深められるよう、教育委員会と連携し、小学校において1年生の児童を対象に「上手な手洗い授業（45分間）」を実施する。
5	保健センターによるこどもの食に関する情報提供、普及啓発 [再掲]	保健センター	○各保健センターにおいて、乳幼児健診を活用して、食に関する情報提供（パンフレット・待ち合い場所でのパネル展示）や個別相談を行う。 ○区の健康まつり等のイベント時に、栄養相談やパネル展示などを行う。
6	保健センター等で行う食育教室・食生活相談の実施 [再掲]	保健センター	○各保健センターで母子関係の個別相談及び集団指導を行う（乳幼児健診、各種食育教室）。 ○すこやか食生活推進リーダーやすこやか食生活推進サポーターを活用して、幼稚園等で食に関する講演等を行う。

食育推進プログラム		実施主体	主な内容
7	安全でおいしい保育園等給食の充実 [再掲]	保育園	○保育園等給食の献立作成にあたっては、季節感や地域性を考慮し、品質がよく、幅広い種類の食材を取入れる。 ○19日（わ食の日）の給食を「ごはん・魚料理・汁物」の献立にし、「わ食の日」と「日本型食生活」について意識づけを図る。 ○おやつにいりこを提供し、「かむこと」の意識づけを図る。 ○県内産の野菜等を可能な範囲で取り入れ、保育園等に食の情報を提供する。 ○除去食対応を中心に、食物アレルギー対応を行う。
8	保育園等における食の家庭支援 [再掲]	保育園	○保育参観時に給食参観や給食試食会、「食」に関する講演会などを行う。 ○3色分けした栄養ボード等を活用し、給食食材のグループ分けをし、情報を提供する。
9	「食育通信～保育園から食のメッセージ～」の配信 [再掲]	保育園	○幼保企画課が提供した食育通信を参考に、各保育園等で給食だよりを作成し家庭に配付するとともに、「食」に対する関心を高める。（保育園等給食、園で実施した食育の内容とこどもの反応等）
10	保育園等における栽培体験 [再掲]	保育園	○各保育園等において、食育年間計画を作成し、野菜等の栽培から収穫、調理、喫食までの一連の体験を3歳以上児を中心に実施する。（夏野菜の苗植え、水やり、草むしり、収獲等）
11	保育園等における食体験の充実 [再掲]	保育園	○給食に興味を持って自分で食べようとする気持ちを育てるため、給食の食材等を見たり、触れたりする体験や皮むき、すじとり等を行う。 ○各年齢別に年間指導計画をたて、年齢に合わせた食体験をする。
12	保育園等における食文化体験 [再掲]	保育園	○地域の人とのもちつきや地域特産の野菜（広島菜など）の収穫など、地域の食文化に触れる取組を行う。
13	海辺の教室事業 [再掲]	行政	○水産業に対する理解を深め、魚と漁業に関する知識の普及啓発を図るため、小学校3～6年生とその保護者を対象に、水生生物の観察やカキ養殖などについて学習する「海辺の教室」を毎月1回（7、8月を除く。）開催する。
14	海と漁業の体験スクール [再掲]	行政	○水産業に対する理解を深め、魚と漁業に関する知識の普及啓発を図るため、市内の小学生を対象とした種苗の放流体験や市内の小中学校・こども会等の団体を対象とした干潟の生物観察、カキ打ち体験などを実施する。
15	SNSを活用したレシピの普及啓発 [再掲]	保健センター	○YouTube、X、Facebook等を活用し、すこやか食生活推進リーダーやすこやか食生活推進サポーターが作成したレシピの普及啓発を行う。
16	SNSや区役所モニター広告による啓発 [再掲]	保健センター	○ひろしま子育て応援アプリ「母子モ」等のSNSや区役所設置のモニター広告を利用し、栄養バランスのよい食事や朝食摂取の重要性について普及啓発を行う。
17	乳幼児健診会場のモニターを活用した動画による啓発 [再掲]	保健センター	○乳幼児健診会場のモニターを使用し、待ち時間を利用した動画による啓発を実施する。 ○こどもの食に関する情報提供の他、食育の推進や親世代の健康づくりに関する啓発動画も放映。
18	親子クッキング [再掲]	保健センター	○小学生と保護者を対象として、調理実習を行い、栄養バランスの整った食事の大切さなどについて普及啓発する。
19	オープンスペース等で実施する食育教室 [再掲]	保健センター	○子育て世代に対し、朝食に関する普及啓発等を行い、食習慣の改善を図り、家族ぐるみの健康づくりを推進する。
20	とりわけ離乳食に関する食育講座（実演・試食あり） [再掲]	保健センター	○とりわけ離乳食について、実演・試食を行うことにより、親・子ともに栄養バランスのとれた食事について普及啓発する。
21	お口の健康フェアによる食育の推進 [再掲]	保健センター	○お口の健康フェア参加者を対象に、噛みやすい食事の実物展示を行い、噛むことの大切さを伝えるとともに栄養バランスの良い食事について普及啓発を行う。
22	卒乳講座でのおやつについてのミニ講座による食育の推進 [再掲]	保健センター	○卒乳講座に参加している乳幼児及びその保護者を対象として、乳幼児期に適したおやつの摂り方や、簡単に調理でき、不足しがちな栄養素を摂取できるおやつのレシピを紹介するなど、適切な情報提供を行う。
23	広島市安佐北食育交流センターにおけるパネル展示 [再掲]	保健センター・食育推進会議事務局	○広島市安佐北食育交流センターにおいて、3つのわ食、安佐北区で生産されている野菜の生産地マップ及びレシピ等の掲示を行う。
24	夏休み料理教室 [再掲]	保健センター	○小学生を対象として、調理実習を行い、栄養バランスの整った食事の大切さなどについて普及啓発する。
25	もてなしのまちづくり事業 木曜であい市・食農体験 [再掲]	行政	○農家が区内の新鮮野菜などを販売する「木曜であい市」の開催や、学校給食への食材提供（野菜）を安定的に行う仕組みにより、地産地消を促進する。 ○生産地において、農作物の栽培から収穫、食を体験する「食農体験」を実施し、地産地消及び生産者と消費者の交流の促進等を図る。

	食育推進プログラム		実施主体	主な内容
26	地元野菜・伝統野菜の普及啓発(栽培展示)	[再掲]	行政	○区役所や小学校の畑で、伝統野菜の栽培の様子を展示するとともにSNS等で広報することで、地域の伝統野菜の普及・啓発を図る。 ○地元農家の指導のもと児童や園児が植付から収穫、給食での食を体験することにより、地産地消および生産者と地域のこどもの交流の促進を図る。
27	地域団体による収穫祭の実施	[再掲]	地域団体等	○旧国鉄宇品線の北側で菜園活動を行う地域団体等で収穫祭を実施する。(春と秋の2回実施) ○野菜の植え付けから収穫、調理を通じて食育を推進することを目的とする。
28	高知県安芸市との交流「じゃこの日給食」		行政・学校・安芸「釜あげちりめん丼」楽会	○安芸区と交流のある高知県安芸市の特産品「ちりめんじゃこ」をPRするため、安芸区内の小学校で、給食放送や動画視聴等を行う。
29	こどもの文化体験	[再掲]	青少年センター	○「次世代のための食育プロジェクト」で育成された学生を中心としたスタッフによる小学生を対象とした稲作体験
30	食に関する指導の学校体制づくり		学校	○各学校で食に関する指導の全体計画・年間計画を作成する。 ○学校における食育の推進上の課題を解決するため、食育推進担当者等を対象とする研修の実施と充実を図る。 ○食に関する指導の教材や資料の共有化を図る。
31	栄養教諭を中核とした学校における食育の充実		学校	○学校における食育を充実させるため、栄養教諭を中心に食に関する指導内容等を研究し、全市の学校に広める。 ○家庭・地域との連携を図り、体験活動等による食育の実践方策を研究し全市の学校に広める。 ○栄養教諭等の資質向上のため、研修を実施する。
32	「生きた教材」である学校給食と給食指導の充実	[再掲]	学校	○「食育の日(わ食の日)」に和食の献立の給食を実施する。 ○栄養バランスや、食文化の伝承、国際理解、地場産物・旬の食材の活用を考慮した学校給食を実施する。 ○噛みごたえのある食材を使った献立を実施する。 ○給食指導資料を作成し、各校で活用する。
33	学校・家庭・地域が連携した食育の充実	[再掲]	学校	○小学1年生から中学3年生までの各学年の指導計画に応じた食育教材を作成し、児童生徒の指導及び家庭への啓発を行う。 ○家庭・地域と連携を図るため、食育だより・ホームページ等で情報提供を行う。 ○児童生徒の食生活状況(朝食等)を把握し、指導に活用する。 ○地域人材・関係機関等による食育授業を実施する。
34	幼稚園における料理教室や行事食体験の開催	[再掲]	幼稚園	○幼稚園において調理体験や食に関わる行事等を実施する。
35	幼稚園におけるお弁当の時間を活用した食べ方の指導	[再掲]	幼稚園	○お弁当の時間に、食前の手洗いや食事のあいさつ、箸の持ち方などについて指導する。
36	「早寝早起き　元気なあいさつ　朝ごはん運動」の推進	[再掲]	学校	○ 家庭・地域との連携を推進し、幼児児童生徒の生活リズムの定着を図る。 ○ 全校一斉生活リズムカレンダー実施週間を実施する。 ○ 基本的な生活習慣の定着に関するリーフレットを配付する。
37	農業委員等による農業体験指導	[再掲]	行政	○幼稚園、保育園、小学校、区役所、民間等で、農業委員等が、芋ほりや野菜、麦、稲作栽培などの農業体験学習を支援する。

4　若者世代のための食育啓発事業　【17件】

	食育推進プログラム		実施主体	主な内容
1	SNSを活用したレシピの普及啓発	[再掲]	保健センター	○YouTube、X、Facebook等を活用し、すこやか食生活推進リーダーやすこやか食生活推進サポーターが作成したレシピの普及啓発を行う。
2	SNSや区役所モニター広告による啓発	[再掲]	保健センター	○ひろしま子育て応援アプリ「母子モ」等のSNSや区役所設置のモニター広告を利用し、栄養バランスのよい食事や朝食摂取の重要性について普及啓発を行う。
3	健康パネル展開催等による健康づくりの推進	[再掲]	保健センター	○区役所ロビーや保健センターの掲示板、地域で開催されるまつり等において、健康パネル展等を実施する。
4	企業と連携した食育の推進	[再掲]	保健センター・企業	○区内の企業と連携し、働く世代及びその家族を対象とした健康展や健康講座を実施し、栄養バランスのとれた食事について普及啓発する。
5	地域連携協力に係る大学との健康づくりの推進	[再掲]	保健センター・大学	○区内の大学における大学祭や新入生対象の健康ガイダンスで、栄養バランス等について普及啓発する。
6	乳幼児健診会場のモニターを活用した動画による啓発	[再掲]	保健センター	○乳幼児健診会場のモニターを使用し、待ち時間を利用した動画による啓発を実施する。 ○こどもの食に関する情報提供の他、食育の推進や親世代の健康づくりに関する啓発動画も放映。
7	専門学校等への出前講座	[再掲]	保健センター	○区内の専門学校及び大学等に所属する学生を対象として、栄養・食生活改善を普及啓発する。

	食育推進プログラム		実施主体	主な内容
8	オープンスペース等で実施する食育教室	[再掲]	保健センター	○子育て世代に対し、朝食に関する普及啓発等を行い、食習慣の改善を図り、家族ぐるみの健康づくりを推進する。
9	とりわけ離乳食に関する食育講座（実演・試食あり）	[再掲]	保健センター	○とりわけ離乳食について、実演・試食を行うことにより、親・子ともに栄養バランスのとれた食事について普及啓発する。
10	お口の健康フェアによる食育の推進	[再掲]	保健センター	○お口の健康フェア参加者を対象に、噛みやすい食事の実物展示を行い、噛むことの大切さを伝えるとともに栄養バランスの良い食事について普及啓発を行う。
11	卒乳講座でのおやつについてのミニ講座による食育の推進	[再掲]	保健センター	○卒乳講座に参加している乳幼児及びその保護者を対象として、乳幼児期に適したおやつの摂り方や、簡単に調理でき、不足しがちな栄養素を摂取できるおやつのレシピを紹介するなど、適切な情報提供を行う。
12	大学における食育教室	[再掲]	保健センター	○区内の大学に所属する学生を対象として、栄養・食生活改善を普及啓発する。
13	地域団体による収穫祭の実施	[再掲]	地域団体等	○旧国鉄宇品線の北側で菜園活動を行う地域団体等で収穫祭を実施する。（春と秋の2回実施） ○野菜の植え付けから収穫、調理を通じて食育を推進することを目的とする。
14	親子で元気じゃけんツアー「西区の食・発見するけぇ！」	[再掲]	行政	○小学生とその家族を対象に、西区で栽培した「サツマイモ」の収穫体験を行う。 ○生産者を講師として招き、生産者と消費者の交流を行う。
15	親子で元気じゃけんツアー「西区で海の幸、発見するけぇ！」	[再掲]	行政	○小学生とその家族を対象に、西区の食材（井口わかめ）の刈り取り体験を行う。 ○井口わかめの生産者を講師として招き、生産者と消費者の交流を行う。
16	次世代のための食育プロジェクト	[再掲]	青少年センター	○自宅で気軽に体験できる稲作体験を小学生に伝えることができる高校大学生を中心としたスタッフを育成し、それをこどもたちへ伝える場を創出する
17	若者世代のための食育啓発事業	[再掲]	食育推進会議事務局	○若い世代に対し、「望ましい食習慣の形成・食に関する自己管理能力の育成」を図るため、趣旨に賛同する大学において、大学生を中心とした新しい発想や企画力を生かした啓発活動として食育プロジェクトを推進する。

5　噛ミング30運動の推進　【15件】

	食育推進プログラム		実施主体	主な内容
1	保健センターにおける歯科相談・歯科保健教室の実施		保健センター	○各区の保健センター等において、歯科医師・歯科衛生士による歯科相談日及び歯科保健教室を開催し、歯科疾患の予防と咀嚼の重要性に関する普及啓発を行う。
2	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（口腔）		行政	○口腔機能低下の恐れがある高齢者に対し、歯科衛生士が通いの場等での健康教室や家庭訪問等により相談・指導を行うとともに、歯科医療機関の受診や介護予防事業等の適切な支援につなげる。
3	地域保健・職域保健連携推進事業	[再掲]	行政	○従業員やその家族等への健康づくりへの理解を深めるため、企業に出向いて健康教室を行う。 ○健康経営の認知度を向上させるため、民間ラジオ局及び全国健康保険協会広島支部と共催したラジオキャンペーンの実施や健康経営セミナー（共催・後援）を実施する。
4	介護予防活動等普及啓発事業（口腔機能維持向上教室）		地域包括支援センター	○65歳以上の高齢者を対象に、嚥下や咀嚼等の口腔機能の維持向上のための教室を開催する。
5	噛ミング30運動への取組		保健センター	○乳幼児健診や育児教室等の歯科保健事業の中で、リーフレットの配布等により、よく噛んで食べることの大切さについて啓発する。
6	保健センターによるこどもの食に関する情報提供、普及啓発	[再掲]	保健センター	○各保健センターにおいて、乳幼児健診を活用して、食に関する情報提供（パンフレット・待ち合い場所でのパネル展示）や個別相談を行う。 ○区の健康まつり等のイベント時に、栄養相談やパネル展示などを行う。
7	安全でおいしい保育園等給食の充実	[再掲]	保育園	○保育園等給食の献立作成にあたっては、季節感や地域性を考慮し、品質がよく、幅広い種類の食材を取入れる。 ○19日（わ食の日）の給食を「ごはん・魚料理・汁物」の献立にし、「わ食の日」と「日本型食生活」について意識づけを図る。 ○おやつにいりこを提供し、「かむこと」の意識づけを図る。 ○県内産の野菜等を可能な範囲で取り入れ、保育園等に食の情報を提供する。 ○除去食対応を中心に、食物アレルギー対応を行う。
8	「食育通信～保育園から食のメッセージ～」の配信	[再掲]	保育園	○幼保企画課が提供した食育通信を参考に、各保育園等で給食だよりを作成し家庭に配付するとともに、「食」に対する関心を高める。（保育園等給食、園で実施した食育の内容とこどもの反応等）
9	SNSや区役所モニター広告による啓発	[再掲]	保健センター	○ひろしま子育て応援アプリ「母子モ」等のSNSや区役所設置のモニター広告を利用し、栄養バランスのよい食事や朝食摂取の重要性について普及啓発を行う。

	食育推進プログラム		実施主体	主な内容
10	乳幼児健診会場のモニターを活用した動画による啓発	[再掲]	保健センター	○乳幼児健診会場のモニターを使用し、待ち時間を利用した動画による啓発を実施する。 ○こどもの食に関する情報提供の他、食育の推進や親世代の健康づくりに関する啓発動画も放映。
11	オープンスペース等で実施する食育教室	[再掲]	保健センター	○子育て世代に対し、朝食に関する普及啓発等を行い、食習慣の改善を図り、家族ぐるみの健康づくりを推進する。
12	南区の食“風土”を考える会	[再掲]	行政、大学地域団体、食品関連事業者等	○食生活の自立支援（料理教室の開催、メニュー集の普及）、おいしく食べる環境づくり（調理などを通じて交流を行う場づくり等）に関する取り組みを高齢者の食に関わる関係者が協働して実施する。
13	お口の健康フェアによる食育の推進	[再掲]	保健センター	○お口の健康フェア参加者を対象に、噛みやすい食事の実物展示を行い、噛むことの大切さを伝えるとともに栄養バランスの良い食事について普及啓発を行う。
14	「生きた教材」である学校給食と給食指導の充実	[再掲]	学校	○「食育の日（わ食の日）」に和食の献立の給食を実施する。 ○栄養バランスや、食文化の伝承、国際理解、地場産物・旬の食材の活用を考慮した学校給食を実施する。 ○噛みごたえのある食材を使った献立を実施する。 ○給食指導資料を作成し、各校で活用する。
15	幼稚園におけるお弁当の時間を活用した食べ方の指導	[再掲]	幼稚園	○お弁当の時間に、食前の手洗いや食事のあいさつ、箸の持ち方などについて指導する。

6　食と農と水産の体験活動推進事業 【28件】

	食育推進プログラム		実施主体	主な内容
1	保育園等における栽培体験	[再掲]	保育園	○各保育園等において、食育年間計画を作成し、野菜等の栽培から収穫、調理、喫食までの一連の体験を3歳以上児を中心に実施する。（夏野菜の苗植え、水やり、草むしり、収獲等）
2	保育園等における食体験の充実	[再掲]	保育園	○給食に興味を持って自分で食べようとする気持ちを育てるため、給食の食材等を見たり、触れたりする体験や皮むき、すじとり等を行う。 ○各年齢別に年間指導計画をたて、年齢に合わせた食体験をする。
3	広島生鮮三品連絡協議会事業（“ひろしまそだち”クッキング教室の開催）	[再掲]	広島生鮮三品連絡協議会及び（公財）広島市文化財団	○生鮮三品（青果、食肉、鮮魚）の調理方法の紹介等を行うことにより、その消費拡大を図ることを目的とし、公民館等で親子等を対象とした料理教室を実施する。
4	食農推進事業	[再掲]	行政	○栽培から食べることまでの一貫した食農体験などを行うことにより、市民の「食」と「農」への理解を深め、地産地消の推進を図る。 ○農業体験を希望する小学校に対し、稲作・野菜等の栽培指導や食農授業の支援をする。
5	市民農園・市民菜園の推進	[再掲]	行政	○ 菜園開園者へ開園整備に係る経費を補助する。 ○ 市民への積極的なPRや入園者に対する栽培講習会の開催などを行い、菜園等の利用を促進し、自給自足型市民を拡大する。
6	食農コーディネーター活動支援	[再掲]	行政	○ 食農体験事業や産地交流会などのイベントの企画、運営を行う食農コーディネーターの活動支援をする。
7	広島湾七大海の幸PR事業	[再掲]	行政	○広島湾で獲れる代表的な魚介類7種（メバル、コイワシ、オニオコゼ、アサリ、クロダイ、カキ、アナゴ）をまとめて「広島湾七大海の幸」としてブランド化し、豊かな里海で育った魅力ある食材としてイベント等で多くの市民にPRすることで、これらの消費拡大を図り、広島湾周辺地域の経済を活性化させる。
8	海辺の教室事業	[再掲]	行政	○水産業に対する理解を深め、魚と漁業に関する知識の普及啓発を図るため、小学校3～6年生とその保護者を対象に、水生生物の観察やカキ養殖などについて学習する「海辺の教室」を毎月1回（7、8月を除く。）開催する。
9	海と漁業の体験スクール	[再掲]	行政	○水産業に対する理解を深め、魚と漁業に関する知識の普及啓発を図るため、市内の小学生を対象とした種苗の放流体験や市内の小中学校・こども会等の団体を対象とした干潟の生物観察、カキ打ち体験などを実施する。
10	もてなしのまちづくり事業 木曜であい市・食農体験	[再掲]	行政	○農家が区内の新鮮野菜などを販売する「木曜であい市」の開催や、学校給食への食材提供（野菜）を安定的に行う仕組みにより、地産地消を促進する。 ○生産地において、農作物の栽培から収穫、食を体験する「食農体験」を実施し、地産地消及び生産者と消費者の交流の促進等を図る。
11	地元野菜・伝統野菜の普及啓発(栽培展示)	[再掲]	行政	○区役所や小学校の畑で、伝統野菜の栽培の様子を展示するとともにSNS等で広報することで、地域の伝統野菜の普及・啓発を図る。 ○地元農家の指導のもと児童や園児が植付から収穫、給食での食を体験することにより、地産地消および生産者と地域のこどもの交流の促進を図る。
12	地域団体による収穫祭の実施	[再掲]	地域団体等	○旧国鉄宇品線の北側で菜園活動を行う地域団体等で収穫祭を実施する。（春と秋の2回実施） ○野菜の植え付けから収穫、調理を通じて食育を推進することを目的とする。
13	親子で元気じゃけんツアー「西区の食・発見するけぇ！」	[再掲]	行政	○小学生とその家族を対象に、西区で栽培した「サツマイモ」の収穫体験を行う。 ○生産者を講師として招き、生産者と消費者の交流を行う。

	食育推進プログラム		実施主体	主な内容
14	親子で元気じゃけんツアー「西区で海の幸、発見するけぇ！」	[再掲]	行政	○小学生とその家族を対象に、西区の食材（井口わかめ）の刈り取り体験を行う。 ○井口わかめの生産者を講師として招き、生産者と消費者の交流を行う。
15	ボランティアによる海外援助米生産事業		官民	○広島市、JA、地域生産者組織・町内会、ライオンズクラブで実行委員会を構成し、公募による市民ボランティアとともに、田植え・稲刈り等を行い、生産した援助米をマリ共和国に送る。
16	ふれあい農業教室		行政	○市民に、地元農業者による畑作りから収穫までの農業体験の場を提供し、農業への理解を深め、都市農村交流の推進を図る。
17	中王楽農塾		行政	○市民に、地元農業者の指導によるそばの栽培から食までの一連の農業体験や農村文化を伝える交流の場を提供し、都市農村交流の推進を図る。
18	農作物の栽培から収穫までの一連の体験	[再掲]	運営協議会	○田植え・稲刈り・さつまいもの植え付けや収穫の体験を行う。 ○そばの種まきから収穫、そば打ちの体験を行う。
19	湯来柿もぎボランティア活動の実施	[再掲]	行政、住民	○地域住民とボランティアが放置された柿の収穫を行い、クマなど有害鳥獣による被害を防止する。
20	こんにゃくの食農体験等への支援	[再掲]	住民	○地域住民とボランティアがこんにゃくを学ぶ受講生を受け入れ、栽培から収穫、加工までの一連の体験を行う。
21	動物ふれあい・農業体験		広島市こども村	○動物とのふれあいや、ものづくりを含めた体験活動を行うことで、家畜、食及び農業に関して考える機会を提供する。
22	野菜収穫体験　**【新規】**		広島市こども村	○こども村農場で栽培された野菜を収穫することで、豊かな人間性を育むことに資するとともに、食生活が自然の恩恵の上に成り立ち、食に関わる人々の様々な行動に支えられていることへの感謝の念や理解を深める。
23	夏野菜を使ったピザ作り体験		広島市こども村	○こども村農場で栽培された野菜を使ってピザ作りを行うことで、食生活が自然の恩恵の上に成り立ち、食に関わる人々に支えられていることへの理解を深め、食べ物を大切にする気持ちや感謝を養うきっかけにする。
24	豆腐作り体験		広島市こども村	○大豆を使った豆腐作りときな粉作りを地域の方と一緒に行うことで異世代交流を図り、参加者の食に対する関心や、地域の伝統的な食文化を知る。
25	おやこ農園		広島市こども村	○こどもたちが自然に適切に働きかける力を学び、農業における生産や労働における技術や工夫点について学び、理解を深める。おやこで協力して野菜作りを行うことで、家族の絆を深めたり、家庭での食育を推進する。
26	おやこで稲刈り体験		広島市こども村	○稲刈り体験を通して、普段の食生活が自然の恵みによって支えられていることへの感謝の念や理解を深める。
27	のびたファーム		広島市こども村	○日々の食事が農林漁業者などの食に係る多くの人々や自然の恵みによって支えられていることへの感謝の念や理解を深める。食を大切にする豊かな心を育むため、農業の重要性の理解や、自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動の理解に向けて体験活動の機会を提供する。
28	農業委員等による農業体験指導	[再掲]	行政	○幼稚園、保育園、小学校、区役所、民間等で、農業委員等が、芋ほりや野菜、麦、稲作栽培などの農業体験学習を支援する。

7　つなぐ・つながる地産地消推進事業　【27件】

	食育推進プログラム		実施主体	主な内容
1	倫理的消費（エシカル消費）の普及・促進	[再掲]	行政	○ 倫理的消費の普及・促進の一環として、地産地消や食品ロスの削減に係る啓発を行う。
2	保健センター等における食生活教室の実施 （食生活改善普及活動）	[再掲]	保健センター	○各区保健センター等において、様々な年代等を対象とし、3つの「わ食」を推進するための料理教室や講座を実施する。
3	保健センター等における健康情報の提供 （食生活改善普及活動）	[再掲]	保健センター	○健康まつりや区民まつり、保健センターや区役所の健康情報コーナー等において、食に関するパネル展示やリーフレットの配布等により食生活改善に関する普及啓発活動を行う。
4	安全でおいしい保育園等給食の充実	[再掲]	保育園	○保育園等給食の献立作成にあたっては、季節感や地域性を考慮し、品質がよく、幅広い種類の食材を取入れる。 ○19日（わ食の日）の給食を「ごはん・魚料理・汁物」の献立にし、「わ食の日」と「日本型食生活」について意識づけを図る。 ○おやつにいりこを提供し、「かむこと」の意識づけを図る。 ○県内産の野菜等を可能な範囲で取り入れ、保育園等に食の情報を提供する。 ○除去食対応を中心に、食物アレルギー対応を行う。
5	保育園等における食文化体験	[再掲]	保育園	○地域の人とのもちつきや地域特産の野菜（広島菜など）の収穫など、地域の食文化に触れる取組を行う。
6	広島生鮮三品連絡協議会事業（“ひろしまそだち”クッキング教室の開催）	[再掲]	広島生鮮三品連絡協議会及び（公財）広島市文化財団	○生鮮三品（青果、食肉、鮮魚）の調理方法の紹介等を行うことにより、その消費拡大を図ることを目的とし、公民館等で親子等を対象とした料理教室を実施する。

食育推進プログラム		実施主体	主な内容
7	「ひろしまそだち」地産地消推進事業（ひろしま地産地消の日）［再掲］	行政	○フードフェスティバルや農業祭、料理教室等のイベント、ホームページ等を活用し、広島近郊7大葉物野菜などの「ひろしまそだち」産品をPRする。 ○生産者と消費者との交流を進め、安全・安心の確保を図るとともに、地産地消の普及・啓発を図る。 ○毎月第3日曜日の－ひろしま産day－「ひろしま地産地消の日」に市民へ地産地消の重要性を普及啓発することで地産地消のより一層の推進を図る。
8	地元産魚介類の販売促進事業［再掲］	漁業者	○地元水産物の消費拡大を図るため、漁業者(広島市漁業振興協議会、各漁業協同組合）が実施する水産まつりや朝市等における魚介類の販売促進事業を支援する。
9	広島湾七大海の幸PR事業［再掲］	行政	○広島湾で獲れる代表的な魚介類7種（メバル、コイワシ、オニオコゼ、アサリ、クロダイ、カキ、アナゴ）をまとめて「広島湾七大海の幸」としてブランド化し、豊かな里海で育った魅力ある食材としてイベント等で多くの市民にPRすることで、これらの消費拡大を図り、広島湾周辺地域の経済を活性化させる。
10	健康パネル展開催等による健康づくりの推進［再掲］	保健センター	○区役所ロビーや保健センターの掲示板、地域で開催されるまつり等において、健康パネル展等を実施する。
11	食品関連事業者と連携した食育の推進［再掲］	保健センター・食育推進会議事務局・食品関連事業者	○スーパーマーケット等の食品関連事業者と連携してPOPやレシピの掲出、店内放送等を実施し、野菜や朝食の摂取、地産地消、食品ロス削減等を啓発する。
12	乳幼児健診会場のモニターを活用した動画による啓発［再掲］	保健センター	○乳幼児健診会場のモニターを使用し、待ち時間を利用した動画による啓発を実施する。 ○こどもの食に関する情報提供の他、食育の推進や親世代の健康づくりに関する啓発動画も放映。
13	木曜であい市における地元野菜レシピの紹介［再掲］	保健センター	○農家が区内の新鮮野菜などを販売する「木曜であい市」において、地元野菜を使用したレシピの掲示・配付を行い、野菜摂取量の向上を中心に、栄養バランスの整った食事について普及啓発を行う。
14	お口の健康フェアによる食育の推進［再掲］	保健センター	○お口の健康フェア参加者を対象に、噛みやすい食事の実物展示を行い、噛むことの大切さを伝えるとともに栄養バランスの良い食事について普及啓発を行う。
15	地元野菜を使用した料理教室［再掲］	保健センター	○地場産の食材を使用した料理の実習を行い、地産地消の大切さや栄養バランスの整った食事について普及啓発する。
16	歯の祭典＆健康展における情報発信［再掲］	保健センター	○歯の祭典＆健康展の参加者を対象に、栄養に関する展示や豆運び競争を実施し、栄養を中心とした健康に関する情報の普及啓発を行う。
17	広島市安佐北食育交流センターにおけるパネル展示［再掲］	保健センター・食育推進会議事務局	○広島市安佐北食育交流センターにおいて、3つのわ食、安佐北区で生産されている野菜の生産地マップ及びレシピ等の掲示を行う。
18	食育紙芝居による情報発信［再掲］	保健センター	○区民まつり、保健センターが実施する健康教室や各種サロンなどで、安芸区すこやか食生活推進リーダーやすこやか食生活推進サポーターが作成した食育紙芝居を実演し、栄養・食生活改善及び栄養を中心とした健康増進について普及啓発する。
19	地域の祭りにおける情報発信［再掲］	保健センター	○地区で開催される農業祭や町民まつり等の参加者を対象に、野菜の計量体験やレシピ配布などを実施することで、栄養・食生活改善を普及啓発する。
20	もてなしのまちづくり事業 木曜であい市・食農体験［再掲］	行政	○農家が区内の新鮮野菜などを販売する「木曜であい市」の開催や、学校給食への食材提供（野菜）を安定的に行う仕組みにより、地産地消を促進する。 ○生産地において、農作物の栽培から収穫、食を体験する「食農体験」を実施し、地産地消及び生産者と消費者の交流の促進等を図る。
21	地元野菜・伝統野菜の普及啓発(栽培展示）［再掲］	行政	○区役所や小学校の畑で、伝統野菜の栽培の様子を展示するとともにSNS等で広報することで、地域の伝統野菜の普及・啓発を図る。 ○地元農家の指導のもと児童や園児が植付から収穫、給食での食を体験することにより、地産地消および生産者と地域のこどもの交流の促進を図る。
22	地域団体による収穫祭の実施［再掲］	地域団体等	○旧国鉄宇品線の北側で菜園活動を行う地域団体等で収穫祭を実施する。（春と秋の2回実施） ○野菜の植え付けから収穫、調理を通じて食育を推進することを目的とする。
23	親子で元気じゃけんツアー「西区の食・発見するけぇ！」［再掲］	行政	○小学生とその家族を対象に、西区で栽培した「サツマイモ」の収穫体験を行う。 ○生産者を講師として招き、生産者と消費者の交流を行う。
24	親子で元気じゃけんツアー「西区で海の幸、発見するけぇ！」［再掲］	行政	○小学生とその家族を対象に、西区の食材（井口わかめ）の刈り取り体験を行う。 ○井口わかめの生産者を講師として招き、生産者と消費者の交流を行う。
25	湯来柿もぎボランティア活動の実施［再掲］	行政、住民	○地域住民とボランティアが放置された柿の収穫を行い、クマなど有害鳥獣による被害を防止する。

食育推進プログラム		実施主体	主な内容
26	こんにゃくの食農体験等への支援 [再掲]	住民	○地域住民とボランティアがこんにゃくを学ぶ受講生を受け入れ、栽培から収穫、加工までの一連の体験を行う。
27	「生きた教材」である学校給食と給食指導の充実 [再掲]	学校	○「食育の日（わ食の日）」に和食の献立の給食を実施する。 ○栄養バランスや、食文化の伝承、国際理解、地場産物・旬の食材の活用を考慮した学校給食を実施する。 ○噛みごたえのある食材を使った献立を実施する。 ○給食指導資料を作成し、各校で活用する。

8 ひろしま食育ネットワーク連携事業 【10件】

食育推進プログラム		実施主体	主な内容
1	元気じゃけんひろしま21協賛店・団体 [再掲]	行政	○食生活などの健康づくりに欠かせない情報を提供している飲食店や企業等を認証し、ステッカーを交付するとともに市ホームページ等で公表する。
2	企業と連携した食育の推進 [再掲]	保健センター・企業	○区内の企業と連携し、働く世代及びその家族を対象とした健康展や健康講座を実施し、栄養バランスのとれた食事について普及啓発する。
3	地域連携協力に係る大学との健康づくりの推進 [再掲]	保健センター・大学	○区内の大学における大学祭や新入生対象の健康ガイダンスで、栄養バランス等について普及啓発する。
4	食品関連事業者と連携した食育の推進 [再掲]	保健センター・食育推進会議事務局・食品関連事業者	○スーパーマーケット等の食品関連事業者と連携してPOPやレシピの掲出、店内放送等を実施し、野菜や朝食の摂取、地産地消、食品ロス削減等を啓発する。
5	南区の食“風土”を考える会 [再掲]	行政、大学地域団体、食品関連事業者等	○食生活の自立支援（料理教室の開催、メニュー集の普及）、おいしく食べる環境づくり（調理などを通じて交流を行う場づくり等）に関する取り組みを高齢者の食に関わる関係者が協働して実施する。
6	西区元気じゃけん食堂事業 [再掲]	保健センター	○区役所職員食堂を「食と健康情報の発信スポット」として、健康定食の提供支援や健康に関する情報の掲示、健康相談・測定会などを実施する。
7	ボランティアによる海外援助米生産事業 [再掲]	官民	○広島市、JA、地域生産者組織・町内会、ライオンズクラブで実行委員会を構成し、公募による市民ボランティアとともに、田植え・稲刈り等を行い、生産した援助米をマリ共和国に送る。
8	次世代のための食育プロジェクト [再掲]	青少年センター	○自宅で気軽に体験できる稲作体験を小学生に伝えることができる高校大学生を中心としたスタッフを育成し、それをこどもたちへ伝える場を創出する
9	学校・家庭・地域が連携した食育の充実 [再掲]	学校	○小学1年生から中学3年生までの各学年の指導計画に応じた食育教材を作成し、児童生徒の指導及び家庭への啓発を行う。 ○家庭・地域と連携を図るため、食育だより・ホームページ等で情報提供を行う。 ○児童生徒の食生活状況（朝食等）を把握し、指導に活用する。 ○地域人材・関係機関等による食育授業を実施する。
10	若者世代のための食育啓発事業 [再掲]	食育推進会議事務局	○若い世代に対し、「望ましい食習慣の形成・食に関する自己管理能力の育成」を図るため、趣旨に賛同する大学において、大学生を中心とした新しい発想や企画力を生かした啓発活動として食育プロジェクトを推進する。

● すべての重点プログラムに関連【4件】

事業名		実施主体	主な内容
1	「わ食の日（和食・輪食・環食）」の啓発	食育推進会議事務局	○毎月19日（食育の日）の「わ食の日」の啓発とともに、本市が独自に推進する3つの「わ食（和食・輪食・環食）」の実践に繋がる様々な取組を実施する。
2	ひろしま食育ネットワーク連携事業	食育推進会議事務局	○ ひろしま食育ネットワーク参加団体が、互いの連携を強化し、食育に関する取組をより効果的・効率的に実施するための取組を行う。
3	食育に関する情報の発信	食育推進会議事務局	○市ホームページ内に開設した「食育ホームページ」や市公式SNS等を活用し、食育に関する様々な情報の発信を行う。
4	食育啓発用物品の貸出	食育推進会議事務局	○食育推進に取り組む団体等に対し、取組や活動の充実に役立つ啓発用物品の貸出を行う。

● 広島市食育推進会議の運営【１件】

事業名		実施主体	主な内容
1	広島市食育推進会議の運営	食育推進会議事務局	○本市における食育を推進するため、会長（市長）と19名の委員（有識者、教育・保育関係者、保健・医療関係者、食材生産者、食品関連事業者など）で構成する食育推進会議を開催する。